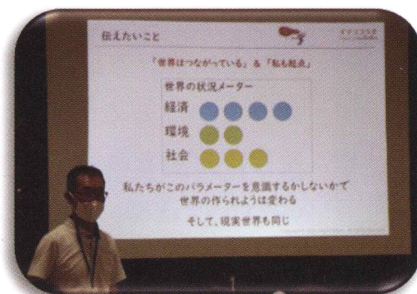


EZ Topics 1 <SDGs> 持続可能な社会

2030SDGs公認ファシリテーターの田中実先生を講師にお招きし、3年生を対象に「SDGs講演会」を開講しました。特にカードを使ったゲームでは、利潤ばかりを追求すると環境が破壊がすすんだり、貧困などの社会問題が起きることがよくわかり、SDGsの重要性が理解できました。



EZ Topics 2 海ごみゼロ 郊外清掃活動

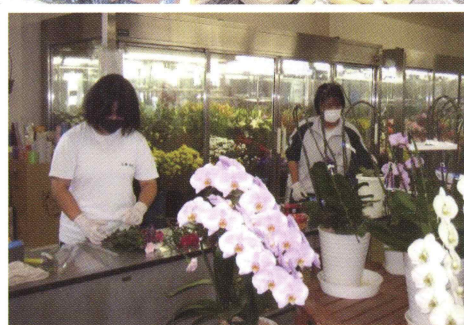
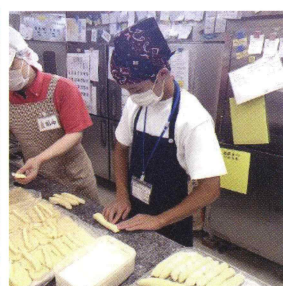
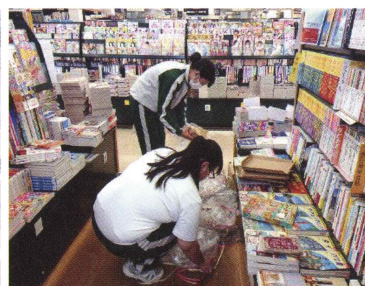
「海ごみゼロウィーク 全国一斉清掃キャンペーン」の趣旨に賛同し、本校でも6/2(水)に校外清掃活動を実施しました。2050年には海洋ごみが魚の量より多くなるといわれており、その海洋ごみの8割は陸から川へ、そして海へと流出しています。地域の環境保全が世界の海洋保全につながるこの活動をこれからも継続していきましょう。



EZ Topics 3 2年対象に 将来を見据えた インターンシップの実施

本年度は企業の方々のご理解とご協力により、2年生を対象にインターンシップを実施することができました。

感染症予防対策をしながらの職業体験は大変でしたが、「自分の将来の夢に対して具体的なイメージをつかめるようになり、今後、自分がすべきことを考える良い機会になった。」(保育園)、「自分の将来の姿を想像できたり、自分の短所を見直すことができ、将来につながる体験となった。」(博物館)、「お客様の笑顔や楽しそうに帰る姿を見てやりがいを感じた。」(ホテル)「仕事の大変さや技術の素晴らしさを実感でき、自分も将来こうなりたいと思えた。」(菓子製造)など、机上では得られない貴重な体験をすることができました。



塩山高等学校 学校通信 [イージータイムス]

EZ times

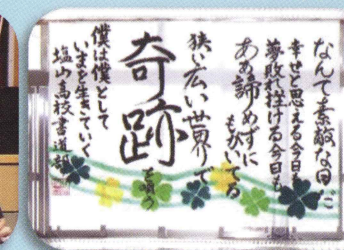
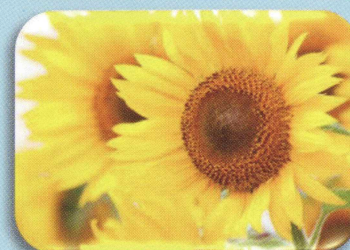


ここが
未来の起点

Vol. 17

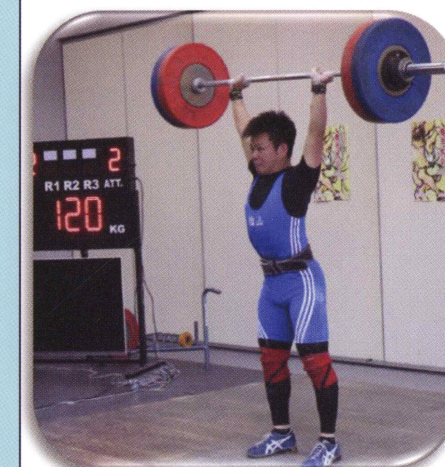
2021 | AUGUST

普通科と商業科を併設した総合制高校である塩山高校で、『ここが未来の起点』を目標にひたむきに頑張っている生徒たちの姿を皆さんに知ってもらいたい。そんな思いのこもった学校通信です。ぜひご覧ください。



HEAD LINE 1

ウェイトリフティング部 奥山 歩夢 県予選 1位でインターハイへ



私は福井県小浜市で行われたインターハイのウェイトリフティング競技 73 kg級に出場しました。

私が高校1年の時、先輩が出場した関東大会を観戦し、自分もこのような大会に出場して勝ちたいと強く思うようになりました。もともと肩に障害があり、きつい時もあったりコロナ禍で練習ができなかったりと様々ありましたが、2年生の新人大会から記録が伸び始め、3月には全国大会へ出場できるまでの実力がつきました。ここでの結果は思わしくなかったため、インターハイではリベンジする気持ちがわきました。

6月に関東大会があり2位となり自信がつけましたが、減量に苦しみ予選ではうまくいかなかったため、インターハイ本番ではこれを教訓に早めに取り組みようしました。インターハイ独特な雰囲気があり、

とても緊張していたのか、得意種目のスナッチで記録なしという結果に終わってしまいましたが、グリーン&ジャークという種目で自己新記録に挑戦し8位に入ることができました。これからは後輩の指導とともに、進路実現と並行しながら競技を続けていきたいと思っています。

(3年奥山 歩夢)

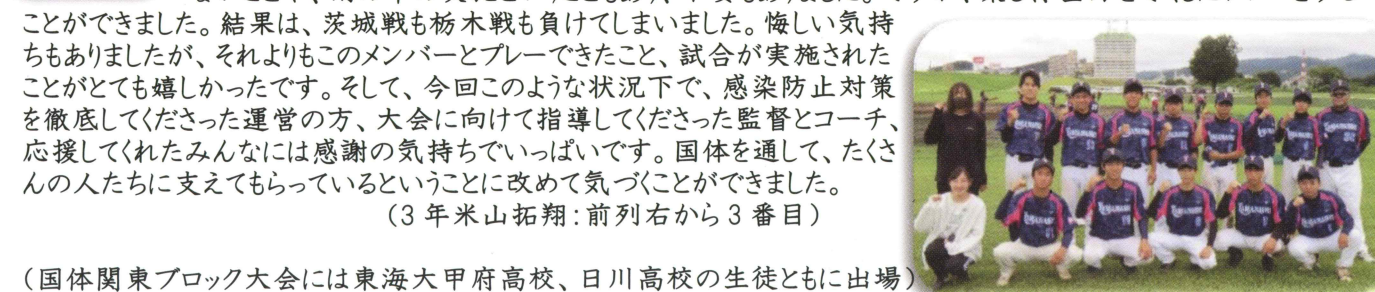
HEAD LINE 2

男子ソフトボール部 国体関東ブロック大会出場



国体関東ブロック大会に出場することが決まった時は、山梨県の代表としてプレーするという責任から不安がありました。ですが三日間の夏合宿や合同練習を通して自分に自信がつけました。栃木県には練習もするために、大会前日から行きました。しかし天候が悪く、前日練習は中止になり、試合も順延されました。迎えた試合当日も、朝から雨が降っていて、選手たちはオフの状態でした。夕方から実施することを聞き、それぞれが自分たちのやり方でモチベーションを高めていきました。思うように練習もできていないことや、雨の中の実施ということもあり、不安もありました。ですが、楽しく、全力を尽くしたプレーをすることができました。結果は、茨城戦も栃木戦も負けてしまいました。悔しい気持ちもありましたが、それよりもこのメンバーとプレーできたこと、試合が実施されたことがとても嬉しかったです。そして、今回このような状況下で、感染防止対策を徹底してくださった運営の方、大会に向けて指導してくださった監督とコーチ、応援してくれたみんなには感謝の気持ちでいっぱいです。国体を通して、たくさんの人たちに支えてもらっていることに改めて気づくことができました。

(3年米山拓翔:前列右から3番目)

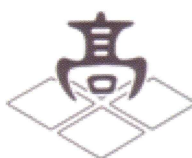


(国体関東ブロック大会には東海大甲府高校、日川高校の生徒ともに出場)

校訓
和敬 叡智 創造



EZ times 第17号
発行：山梨県立塩山高等学校
〒404-0047 甲州市塩山三日市場440-1
☎ 0553-33-2542
発行日：令和3年8月



HEAD LINE 3 第63回菩嶺祭 -with コロナ 初のリモート開催-

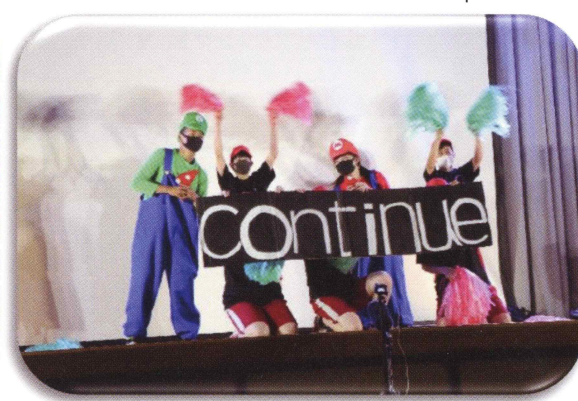


新型コロナウイルスの影響で、開催すらも危うかった学園祭があったという間に終わってしまいました。例年とは全く違い、学校でのリモート開催という初めての試みでしたが、生徒会役員と学園祭実行委員をはじめとする、多くの人たちの努力と協力のお陰で大きなトラブルもなく無事に終えることができました。多くの制限の中で、思い通りにならなかったこともあったと思います。それでも最大限の力を出し、学校行事最大のイベントを最高の思い出にできたことをうれしく思っています。

生徒会長 内田 葵

3年生は最後の、1、2年生は初めての学園祭でした。テスト期間が重なり、準備期間もギリギリだったけど、みんなで協力しあって、どの学年も最高のものにできたと思います。終わったときは、みんな達成感に溢れていました。リモートによるハプニングもありましたが、みんなの笑顔を見たときに無事開催できてよかったと思います。

学園祭実行委員長 柳澤隆一



PICK UP!! ~インターハイ・国体に出場する選手を支える立場から~



私は8月に福井で行われたインターハイに、奥山歩夢選手のセコンドとして参加しました。インターハイに向かうにあたり、私自身が出られなかった悔しさを感じながらも、サポート役としてベストを尽くしたいという気持ちで臨みました。セコンドは、選手の心身のケアをすることが重要なので、試合当日はいつもよりも声掛けや準備に気をつかいました。インターハイを終え、全国大会で活躍できる選手がいるという恵まれた環境で部活動ができていたことを改めて感じる事ができました。インターハイというレベルの高い大会での経験を後輩に伝え、高い目標をもってがんばってほしいと思います。(3年日原岳留)

この状況下で無事に国体関東ブロック大会が開催できたことに感謝しながら、自分ができる精いっぱいサポートができたと思います。試合に関することだけでなく、選手とのコミュニケーションを大切にすることを心掛け、メンタルケアなどを行うように努力しました。また、コロナに感染しないよう、予防を徹底することができてよかったと思います。(3年齋藤愛生:後列左)

4日間の国体関東ブロック大会はあっという間に終わってしまったなと感じました。結果は負けてしまいましたが、選手のみんなが全力で一つ一つの試合に取り組んでおり、マネージャーも含めてよい思い出がたくさん作れました。

選手のみなさんお疲れさまでした。(3年深澤萌々花:前列左)



HEAD LINE 4

高校生商業研究発表大会 -甲州市活性化プロジェクト-



商業科の授業の一環として、「甲州市の活性化」をテーマに様々な研究を行いました。今回の大会では、その成果について発表し、優秀賞を獲得しました。

写真は左から、藤原彩乃さん、古屋凜華さん、市村祐人さん、河野拓海さん、渡辺宙さん、竹井哉斗さん

私たちは7月に行われた生徒商業研究発表大会に出場しました。準備期間では、実際に先生方の前で発表をし、アドバイスをいただいて練習に励みました。特に、緊張によって、表情が硬くなり話すスピードも速くなってしまったので、笑顔でゆっくり話せるように練習を重ねました。大会当日は、ジェスチャーも使い表現力を豊かにすることを意識して発表することができました。結果は今までの練習の成果や、先生方の支えのおかげで、全体で2番目に良い「優秀賞」を受賞することができました。練習の成果が報われとても嬉しかったです。

今後も、甲州市の活性化に向けて活動を続け、さらに発展する街づくりに貢献していきたいと思っています。

商業科 市村 祐人

EZ COLUMN 1 東京オリンピック 聖火ランナー

6月26・27日に、東京五輪聖火リレーが山梨県で行われ、2日目の昨日、本校1年生の手塚類さんが聖火ランナーとして甲州市を走りました。



手塚さんは、「すごく緊張しましたが、沿道でたくさんの方が応援してくださり、大きな力をもらいました。また、走り終わってから聖火トーチをたくさんの方に持ってもらおうと、みんなが笑顔になって嬉しかったです。」と、話してくれました。

手塚さんは、卓球女子団体代表の平野美宇選手を応援したいという思いから、聖火ランナーに参加する決断をしました。

そして、この素晴らしい貴重な経験をおして、たくさんの方と繋がり笑顔をお届けすることができました。



EZ COLUMN 2 地域への参画 高校生議会

8月に高校生議会が山梨県議会議事堂で開催され、私は「やまなし」地域ブランドの価値向上について提言をしました。県政で行っていることをもっと県民に知らせるべきであり、私たちも興味を持つことが発展につながるの思いを伝えてきました。

ここでの提言は山梨の今後に関する提言でありましたが、一般的に若者の政治に対する関心は高いとは言えない状況にあります。過疎化や経済の落ち込みなどを打開するためには、私たち若者がもっと政治に興味を持ち、まずは選挙に行くことから始めることが大切であると感じました。

2年 廣瀬 彩夏

